

まなびの広場  
稲進会  
教室通信

## 彩色いろいろ

## 『同じものを見ている??』

犬の嗅覚は人間の100万倍！だそうです。だからといって、人間が1m離れて感じることでできる匂いを、100万m離れても嗅ぎとることができるというわけではなく、匂いを作っている成分が100万分の1の薄さでも嗅ぎ分けられるという意味で100万倍と表現するようです。反対に、視力は犬種によって違いはあるものの、多くは2~3mまでしかはっきり見えないと言われていました。

色の判別も人間より弱い、でも視野は人間より広いとのこと。

人間と犬が、散歩をしていて同じ道を歩いていても、感じる匂いや見えているものは大きく異なると言えますね。

生命体としてほぼ同じ能力を持つ人間同士(視力、嗅覚の誤差はもちろん個人差があります。ただ犬と比べると無いに等しい)であっても、同じ時間に同じ場所にいたとしても、五感で感じ取るものは違うものです。

街中にいるとして、車に興味がある人であれば、車に目が行きます。服飾関係の仕事についている人であれば、どんな服装が流行っているのが気になるものです。明日、好きな人に告白(♡)しようとしている人は、何も視界に入っていないかもしれません。同じものを同じ時間に見ていたとしても、同じような感覚でインプットしていることの方が稀なのではないでしょうか。

そう考えると、多くの子どもたちにとって勉強の得意不得意の決めてとなる『成績』。これの信憑性も疑わしいものであると言えます。限られた範囲でのテスト、限られた担当教室がつけた評価、こうしたものが絶対的なものであるはずがありません。計算は少し遅いけど、図形の難問を解くセンスが抜群の子、この生徒は算数(数学)が苦手と言えるのでしょうか？授業態度を評価する際、よく判断の材料になるのが手をあげた回数。あれもなんだかな？と思えてしまいます。とにかく手をあげてしまえ！作戦で、自分の中で答えがはっきりしていないのにとりあえず手をあげる子と、じっくり考え自分の中で納得する解答を見つけてから手をあげる子、回数という観点だけでは、前者の評価が高くなります。でも、それって適切？

少し範囲が変われば、担当教師が変われば、判断する視点を変えれば、『成績』なんてものは、まったく別のものになる可能性は大いにあるのです。

自分にとって耳障りのよい、聞き心地のよい評価は、それはそれで素直に受け入れればよいと思います。反対に、目にしたくない、耳にしたくない評価を受けた時、それはあくまで限られた(もしくは特殊な)基準で判断されたにすぎないものなのです。

誰かの、何かの評価、そうしたものを蹴り飛ばせる強さ、生徒たちにも持ってほしいなと思います。(日々、評価に怯えている自分自身を自戒して^^)



# 教室の風景

## ゲームデザイン

みなさんは、ファミコンの『スーパーマリオブラザーズ』をやったことはありますか？私は小学校の頃、毎日のようにやっていました。特に説明書など読まなくても気軽に遊べるゲームでした。実は、あのゲームの「1-1面」（最初の面）は、現代のスマホゲームも顔負けの優れたデザインをしているのです。

タイトル画面でスタートボタンを押した途端、ゲームが始まるにもかかわらず、自然と遊び方がわかるようになっていきます。最初にクリボー（敵）がこっちに向かってきます。初心者は『B ダッシュ』を知らないとして、避けるためにジャンプすると自然とクリボーを踏み倒します。ここでプレイヤーは、「ああ、敵は踏みつけて倒すのか」と気づきます。次に『ハテナブロック』を叩くと突如怪しげなキノコが出てきます。果たしてこれは敵でしょうか？しばらく考えているうちに、なんとキノコは土管に跳ね返って、こっちに向かってくるではありませんか。怖いからジャンプして避けようとしても頭上にはブロックが並んでいて、ジャンプをしたとしても半強制的にキノコにぶつかってしまいます。やむを得ずこのキノコをとるとマリオがでっかくなって、ブロックも壊せるほどパワーアップした事が理解できるでしょう。

このほかにも実は1面で、ゲームに登場するすべてのアイテムが出てきたり、土管の入り方もさりげなく教えてくれたり、いろいろな工夫が施されています。

たかが1面の中に、想像出来ないほどの綿密な計算が隠されているのです。

今、ジュニアクラスでは Scratch(プログラムを組めるアプリ)でゲームを作っている生徒がいます。ただの自己満足のゲームを作るのか、遊んだ瞬間にプレイヤーを虜にするゲームを作るのか、いろいろ試行錯誤をして、ゲームデザインも学んで欲しいと思います。



インストラクター 伊勢 豊



## 6月作品紹介



(左上)「演奏会場」 (まん中上)「サービスエリア」  
(右上)「エレファントマンション」  
(※ライオンズマンションではなく)  
(左下)「ニコニコ顔」